地区広報
芸術の森

題字　平澤　博

第10号
平成20年1月30日
発行　地区広報・芸術の森
編集委員会
印刷　(株)辻　孔　版　社

年頭のご挨拶

札幌市南区長
立　石　　彰

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

日頃より、芸術の森地区の皆様には、南区のまちづくりの推進に特段のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年札幌市では、「第２次札幌新まちづくり計画」が決定し、「市民の力みなぎる文化と誇りあふれる街」を目指す施策・事業の実施に向けて新たなスタートをきったところですが、併せて「自治基本条例」の規定を受けた形で「市民まちづくり活動促進条例」が成立したことにより、町内会やボランティア団体などが行うまちづくり活動を支援する仕組みづくりがより一層進められるものと思います。

また、南区におきましては、まちづくりの主役である住民の皆様方が、知恵を出し合い協力し合いながら熱心に地域活動に取組まれており、「自分たちのまちのことを、自分たちで考え、決めて、行動していく」市民自治の歩みを着実に進めてきた１年ではなかったかと感じております。

特に、芸術の森地区では、平成18年に今後10年間のまちづくりの方向性を示した「新まちづくりビジョン」を策定され、この方向性に基づき各種事業が展開されておりますが、日ごろから「もりの仲間の子どもを見守るネットワーク」や「もりの仲間の子育てサロン」、「もりの仲間のさわやかクラブ」など、地域に住む子どもからお年寄りまで、安心、安全に生活することができるまちづくり活動に熱心に取り組まれております。

さらには、南区の中ではいち早くまちづくりビジョンの重点戦略として、シーニックバイウェイ構想への挑戦を位置づけ、例えば、地域にある施設や団体と連携を図りながら「雪あかりの祭典」といった先駆的な事業なども実施されております。

このような様々な分野における熱心な取組みは、地域に住む方々の連帯意識を着実に高めるとともに、住みよいまちづくり、誇りの持てるまちづくりにつながっていくものと思います。

南区といたしましては、今後とも様々な機会を通して、皆様方のご意見をいただきながら、お互いに汗と知恵を出し合い、地域に根ざした“まちづくり”に取組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、芸術の森地区町内会連合会をはじめ、各種団体の益々のご発展と、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年挨拶

芸術の森地区町内会連合会
会　長　　関　口　　明

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申しあげます。

平成19年は、芸術の森連町においては、同18年に策定された新まちづくりビジョンに沿って、諸活動が展開されました。

主なものとして、伝統ある音楽祭や文化祭の開催をはじめ雪あかりの祭典も市立大学の学生さんの参加で盛りあがりました。また、子供を見守るネットワークでは、見守り重点週間のほか交通安全と一体となったR453のパレードも大勢の方々の参加で、目的は達成されたものと思います。

真駒内川の改修は、工事開始後４年経過しましたが、半ばに達したところです。本来の目的である水害防止の工事を重点に進めたいと考えます。

数多くの行事や事業も永く続けられたものが多くなりましたが、永続は力なりを合言葉に進めて参ります。

本年も皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

新年挨拶

ともに考え、
地域で生きる道筋をつくりたい

＝現在の事業の浸透と更なる発展を目指します＝

芸術の森地区社会福祉協議会
（芸術の森地区福祉のまち推進センター）
会長　伊藤　正

あけましておめでとうございます。
日ごろより当会へのご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

当会は、昨年５月の総会において、運営の実情を考慮し更なる福祉向上・発展を目指すべく組織及び役員構成の見直しを重点に、会則の改正をおこなったところです。現在、これに基づき事業は進められており、高齢者支援部（さわやかクラブ等）、子育て支援部（子育てサロン等）、ふれあい部（三世代交流等）、福祉推進部は、地域に深くかかわり、更なる発展を期待されているところです。

社会保障制度が厳しさを増す中、人と人とのかかわりの中で地域で生きることの大切さを改めて考えますと、当会の役割は大きいと考えます。おおいにこの事業を利用いただき、忌憚のないご意見をお聞かせ願います。

最後になりましたが、来る３月９日（日）には、当会広報啓発部企画の講演会（講師 岩見太市氏　会場 芸術の森地区会館）を予定しております。「シニア人生いかに生きるべきか」考えてみたいと思います。多数の皆様の参加を期待いたします。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

新年挨拶

新年明けましておめでとうございます.

芸術の森地区青少年育成委員会
会長　前口敦司

年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

日頃から地域の皆様には育成委員会の活動に御協力とご理解いただき厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も我々育成委員では小学生スキー教室、交流餅つき大会、親善スポーツ大会、地区パトロールなどを例年通り予定しています。

我々の活動の趣旨は、各イベントを通して実際に子供達と接し、子供の目線で考えていくことにあります。そこに心の悩みや環境の問題点を見つけることが出来ると考えるからです。また、人の心の温かさや優しさも感じてほしいと思っています。

本年度も、委員会活動を関係団体の皆さんと協力し、委員全員が一致団結して進めて行きたいと思います。皆さんの参加、ご協力を宜しくお願いします。

最後になりますが皆様のご多幸をお祈りして年頭のご挨拶と致します。

西山コトさん「長寿100歳」で総理大臣から表彰される

西山コトさん＝常盤１条２丁目＝長寿100歳で、総理大臣表彰を受けました。故、西山秀市さん（元　常盤小・中学校長）のご夫人。今は、娘婿、塩田恒雄さんのお世話になられています。

昨年の９月13日、敬老の日の２日前に塩田さんのお家に南区保健福祉部長（西川俊昭）と職員が訪れ、賞状と記念品が伝達されました。

南区で該当者24名のうちの１人です。芸術の森地区あげて祝福と同時に「平成を穏やかにお過ごしください」と、今までの労をねぎらい感謝申し上げます。

芸術の森地区

雪あかりの祭典

芸術の森地区町内会連合会
企画部長　島 田 三千春

芸術の森地区町内会連合会では、街づくりの一環として「シーニックバイウェイ」事業を取り込んでいくことで活動を進めています。

この事業の中に、「人が集まってきて楽しんでもらう」ことに主眼を置いた、《芸術の森地区ウエルカムロード イルミネーション事業》の活動を始めて２年目を迎えました。

イルミネーションは、以前からクリスマス時期に、各々の家で飾り付けをして、周囲を明るい雰囲気にして楽しんでおられました。

連町としては、12月から２月の間、国道453号線沿いの各施設、また、エリアを特定してイルミネーションを飾り付けていただき、地域の方や道行く皆さんに楽しんでいただけるよう進めてきました。従来、個人的に楽しんでこられた方々にも、この期間の点灯をお願いしたいと思っています。

この広報誌が発行される頃には、１月のイベントは終わり、２月のイベントを残すのみとなりますが、今年度の予定は次のように計画しています。

１月のイベント

とき：平成20年１月12日（土）
場所：芸術の森エリア

①10:00～**芸術の森アートホール・アリーナ**
（昔の芸能の南京球簾や皿回しを体験）

②12:00～**芸術の森アートホールロビー**
（芸術の森もちつき大会）

③13:00～**札幌市立大学**
（屋外・アリーナ）
（宝探し・雪だるまアート・ジャズ演奏・他）

④15:30～**関口雄揮記念美術館入口**
（雪あかりの祭典　キャンドル点灯式）

2月のイベント

●スノーフェスティバル
とき：平成20年２月７日（木）18:30～20:00
場所：駒岡小学校

●雪あかりの祭典・スノーフェスタ
とき：平成20年２月９日（土）～10日（日）
場所：南老人福祉センター・
石山緑地

その他

●イルミネーション点灯
期間：平成19年12月～平成20年３月
場所：芸術の森地区まちづくりセンター
保養センター駒岡・南老人福祉センター
R453沿線町内会など

民生委員・児童委員

平成19年12月１日付けで改選がありましたので報告します。

新メンバーをくわえた16名は、気持ちも新たに
社会福祉の増進につとめる所存です。

芸術の森地区民生委員・児童委員協議会

会　長　斉藤　公博（再）
副会長　塩田　恒雄（再）
秋田　幸男（再）
佐々　邦雄（新）
三宮　太蔵（新）
宮腰　優子（再）
加藤　義満（再）
岡部　龍幸（再）
松尾和佳子（再）
野中　晴彦（再）
大野久美子（新）
馬場　　宏（再）
佐々木孝和（再）
東　十八子（新）

主任児童委員

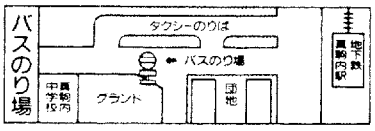
三上　良子（再）
石黒　裕子（再）

今まで、ともに活動してまいりました、
高橋稀一様、寺田松江様、江尻弘子様
は退任されました。長い間、本当にお疲れ様でした。

永久に生きる花と緑の明るい聖地
真駒内滝野霊園
札幌市許認可霊園

無料 見学・墓参バス運行中

時間
午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



お問合せ・お申込みは 真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223㈹

「芸術の森地区 子どもを見守るネットワーク」の集い

子ども見守りパレードの参加と報告

芸術の森地区町内会連合会
交通安全部　大滝 盛弘

町内会連合会の主催する秋事業の一つに『芸術の森地区 子どもを見守るネットワーク』と称して、芸術の森地域全体の関係者が集い、地域の子ども達をみんなで守ろう！と全地域に呼び掛ける行事があり、昨年は10月24日（水）芸術の森会館で講演会・街頭啓発・子どもを見守るパレード等が実施されました。ここ２年はこのような形で行いましたが、子どもを見守る行事ですから他にも沢山の案や方法があると思います。

さて、講演会の人気は高く『スクールガードから見た子ども見守り活動について』講演が始まる頃には会場の二階大ホールが満席状態で二階の床が落ちるのではと、心配するほどの盛況でした。参加名簿の記載をお願いしたところ、105名の記録で記入できない方もあり、実数で大変高い関心を示しました。

特に、若いお母さん方が大変多く見られ参加者層の若返りは感謝感激です。休憩の後、交通安全に対する南警察署の講話と会館前で交通安全運動の街頭啓発を参加者全員で行い、続いて子どもを見守る交通安全パレードを各小学校まで実施、アピールしました。今回は全員が小学校まで行動した事が大成果と思います。

見守る会に寄せる当連合会の皆さんの関心度は極めて高く、市等の関係者からの高い評価と、腕章・ベスト等を特別に配分していただきましたことを紹介致します。（行事担当は、センター事務局・防犯防災部・女性部・交通安全部でした）

福祉を支える人

プロフィール

橋本（はしもと） 正義（まさよし）さん

昭和14年１月３日上川郡風連町で出生。昭和38年札幌に移る。

浜田薬業、北海産商を経て昭和53年９月、(株)橋本晃機を設立、現在に至る。取締役会長。常盤３条２丁目に在住。

春の朝、健康そうな中年のご夫妻に会った。「おはようございます」と挨拶を交わす。その次に会ったとき、「山菜が採れましたか」と聞かれた。「私は、ゴミを拾っているのです」と答えました。

翌朝、また、このご夫妻に会いました。ご夫妻の手にはしっかりとビニールの袋が握られていて「ゴミが詰まっていたのです」驚きました。

夏の日、毎日拾ってもゴミは減りません。そんなとき、ある本に書いてあったのです。「この地球から『ゴミ』を無くするには、捨てる人を100人とすると、拾う人が101人いればいい」。そうだ、私はその101人目になろうと決めました。

今、「地球環境保全」が大きく叫ばれています。この美しい地球を後世に残すために私たちは「何ができるか、しなければならないか」を考えるとき、こんな小さなゴミ拾いであっても、できるだけ多くの人々に声をかけ一緒にやっていきたいと思っています。昔から「早起きは、３文の得」と申しますが、私も元気で「ゴミ拾い」６年目の新春を迎えました。

入所サービス
ショートステイ
みなさまの想いにおこたえいたします
通所リハビリテーション
医療法人 愛全会
介護老人保健施設
アートヒルズ
〒005-0849 札幌市南区石山837-47
居宅介護支援事業所併設（ケアプラン作成）
0120 FreeDial 0120-348-365

第12回 芸術の森地区 音楽祭

11月18日(日)芸術の森アートホールで開催された音楽祭は、手作り音楽祭として開催も12回を数え、地域に根付いたものとなりました。

開催当日は、まずまずの天候で出演者や聴衆の出足も順調でした。プログラムも合唱からジャズ演奏に至るまで幅が広く、大変好評でした。初めて出演頂いたバイオリン二重奏の太田さん姉妹とピアノ弾き語りのNAOさんには、熱演を頂き聴衆の方々の評価は高かったと感じました。次回の出演を楽しみにしております。

また、後半のジャズ演奏で盛り上がりをみせ、熱気で溢れんばかりとなりました。次回に期待するところ大であります。

前日の会場設営、当日の運営並びに復元作業に携わられた多くの皆さんに心からお礼を申しあげます。

この手作り音楽祭が今後とも末永く続けられることを願いながら…

第13回 芸術の森地区 文化祭

第13回芸術の森地区文化祭は、例年通り去る11月２日(金)･３日(土)の両日に開催されました。会場は、いつもの「まちづくりセンター２階会議室」、今年も常盤団地町内会の檜森さんのご協力で、見事に芸術ホールに変身しました。

出展者48名と１団体、出展作品108点。陶芸・絵画・書、写真工芸・折り切り縫い等の手工芸・生花等々。地域の皆さんの多彩な趣味、ユニークな芸術性が会場いっぱいにあふれました。

金曜土曜という日程にもかかわらず両日とも多数の来館があり、接待のお茶で寛ぎながら鑑賞し、お互いの作品・出来栄えの話にもり上がっていました。

11月３日、「文化の日」を期して開催するこの文化祭は、曜日を考慮したり、この素晴らしさをもっと広く地域の皆さんに周知して、益々盛大にしていきたいものです。だって、この地区は「芸術の森地区」なんですから……。　（文責　織田）

第１回 写真展の開催

主催 G.N.C.
芸森ネットコミュニケーション

11月２日・３日の両日、文化祭と同時に開催された「写真展」は、この芸術の森地区の残しておきたい風景を、住民の視点から捉えた作品として展示したはじめての企画でした。力作が多く今後が期待されます。芸術の森の記録として貴重なものとなることでしょう。

薬の上手な使い方
身近かなトラブルの解決方法

二つのテーマについて学びました

女性部主催

10月２日(火)、２つのテーマについて、講演会及び研修会を実施しました。

はじめは、藤野調剤薬局吉澤弘隆薬剤師による講演会で「上手なくすりの付き合い方」というテーマで、お話をいただき、「お薬手帳」は病院処方のものだけではなく、自分自身で服用しているものも記載すること、生きがいがあることの効果、足腰をきたえることの重要性、手洗い・うがいの励行等、自己管理の重要なことをベースにお話がありました。

ついで、「法テラス」の事務局の方からは、近年遭遇する身近な問題を解決するために、とりあえず何処に相談をしたらよいか、弁護士・司法書士などの紹介をする機関として、「法テラス」を利用してほしい旨の話がありました。

今回は長時間に及ぶ研修でしたが、40名の参加があり、質問も多く、みな熱心に受講されていました。

吉澤薬剤師講義風景

法テラス説明風景

不法投棄の絶滅に向けて！

環境衛生部長　堀川 昭八
（クリーンさっぽろ芸森地区委会長）

芸術の森地区町内会連合会の平成19年度事業計画・重点方針の一つに「まちづくりビジョンの実現」があります。この項の一つが「ごみの不法投棄対策」で、これは昨年度にひき続きとりあげられました。

一昨年10月、市のまちづくり局が実施した市内町内会長等対象の「町内会・自治会に関するアンケート調査結果」では、今、町内会でとり組んでいる活動として、ごみ問題にかかわる「地域の清掃やリサイクルなどの環境美化運動」が、1,231団体で88.1％と突出して多く、交通安全推進運動が1,064団体で77.6％と続いており、いずれの町内会も同じ（環境美化に関した）悩みを抱いていることがわかります。

ごみ収集の有料化については、昨年９月に市長が「スリムシティさっぽろ計画」（案）を発表してこれにふれているほか、道内市町村の88％が実施しているなどから、再考の要はあるにしても札幌市も有料化はそう遠くない問題と思いますが、その実施の有無にかかわりなく、私たちの芸術の森連町内は間違いなく不法投棄が考えられる“土地柄”であり、これの防止は可及的なものとしなければなりません。

それには先ず「現場を綺麗にすることが先決」と、これまでも各単位町内会関係者の長年の諸活動が続けられ、あるいは区の清掃関係者による協力などにもかかわらず、不法投棄はあとを絶たない状況にあります。

今年も石山２・３号線を対象に「この度で10回目になる」という『カッコウの里を語る会』のみなさんの清掃作業に合わせて、連町・単町会長・まちづくりセンター所長・クリーンさっぽろ推進員など計30余名の参加を得て昨年11月３日に回収作業を行いました。状況は最悪で、古タイヤやバッテリーといった車両部品、冷蔵庫・テレビなどの家電製品のほか衣類・雑誌など多種多様な生活用品がみられ、量的にも昨年に近い回収をしたところです。

因みに、南区清掃事務所が清掃を担当する道路のワースト３とされる中に、当芸森連町内には２路線（石山２号線及び澄川・厚別の滝連絡線）があり、この汚名返上のためにも懸案としている監視活動（とりわけ監視員制度の立ち上げ）は必要であろうと思っています。

この活動内容については、日頃の散歩経路とか、ペットの運動などで常々通る道などを対象とし、気付いた折に気軽に通報いただくといったもので、決してそれ以上の行為（必ず自分でゴミ拾いをするとか、危害が及ぶといったことまで）は求めないようにし、またその要員・時期についても関係者とお諮りして（立ち上げが決められた時点で）お願いする運びとなりますが、いずれにしても立ち上げるからには、“継続は力なり”となるよう検討していかなければなりません。更に前述の市が策定する今後10年間のごみ総合計画となる「スリムシティさっぽろ計画」（市民意見交換会等を経て、今年３月まで完成予定）などを参考としての立ち上げを計りたいと思っております。

おめでとうございます

●札幌市長表彰（11月４日）
平成19年度札幌市優良青少年団体・青少年育成者
団　体　石山フォックス（石山東地区青少年野球チーム）
育成者　佐藤　順一（常盤スポーツ少年団野球部「常盤ハリケーン」）

●札幌市クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会々長表彰（12月１日）
平成19年度　功　労　者　堀川　昭八（芸術の森連町環境衛生部長）
平成19年度　衛生モデル地区　石山東町内会

●南区クリーンさっぽろ衛生推進協議会々長表彰
平成19年度　地区ボランティア功労者　関口　智子（駒岡団地）
平成19年度　　〃　　「カッコウの里を語る会」
（代表　馬場　宏）

芸森地区「福祉除雪協力員」の実態

福祉除雪サービスは、高齢の方や障がいのある方が、通院や買い物などの外出時に支障となる、道路に面した出入口部分（間口）と玄関先までの通路部分（敷地内）の雪を地域の協力員が除雪する事業です。

地域協力員は、地域のご近所の方々をはじめ、企業・団体など幅広い市民であり、地域住民同士の支え合いの仕組みです。芸術の森地区における、今冬の「福祉除雪」のまとめができましたので、一覧表であらましの報告に代えさせていただきます。

●福祉除雪事業該当世帯数　地域協力員・防災業者一覧表　南区社協調べ

町内会名	該当世帯数	協力員人数	防災業者人数	協力員／業者
駒岡団地町内会	4	15	0	100%
常盤一区町内会	6	3	3	50%
常盤二区町内会	2	1	1	50%
常盤団地町内会	7	7	0	100%
石山東町内会	9	6	0	100%
見晴町内会	3	6	0	100%
石山８区町内会	1	1	0	100%
真駒内二団町内会	2	0	2	0%
真駒内三団町内会	1	0	1	0%
滝野町内会	1	0	1	0%
合　計	36	39	8	60%

「講演会」のお知らせ　平成19年度芸森社協主催

少子高齢化社会「老後の看取り」誰に託せるか

あなたのシニア生活には家庭内や地域社会の中に居場所がありますか？そこは単なる暇つぶしの場でなく、人生を楽しみ、自己の存在感のある場所です。

いよいよわが国は高齢化社会に向かって急な上り坂にさしかかり、年金や介護など社会保障制度はますます厳しくなる一方で、家庭内では子供に依存したシニア人生は望めなくなりつつあるのが現状です。

そのような時代のシニア人生はどう生きるべきなのか！自立とはひとり孤独に生きることではありません。自立した人生には互いに肩を寄せ合い、助け合う居場所が不可欠なのです。

そのような世界でも最先端を行く高齢化社会のグランドデザインを一緒に描いて「豊かなシニア人生」を創造しませんか？

●日　時
３月９日（日）午後14:00～16:00

●場　所
芸術の森地区会館・２階ホール
（南区石山東７丁目）

●講　師
岩見　太市　氏
（ＮＰＯ法人シーズネット代表）

●締　切
２月25日（月）迄

●申込先
芸術の森地区社会福祉協議会
（芸術の森地区福祉のまち推進センター）
電話　592―7144

今年もサンタさんがやってきました

親子で楽しいひと時を過ごしました

もりの仲間の子育てサロン
―社会福祉協議会子育て支援部―

12月21日（水）、サロンのみんなが楽しみにしているクリスマス会がありました。

大きなツリーがきれいに飾り付けられ、小さいお友達もサンタさんのカードを飾ると、サンタ人形のボードビルでのお楽しみです。その後は、いよいよサンタクロースがトナカイさんと一緒に登場です。「赤鼻のトナカイ」の曲にのって登場し、みんなとお話をした後、サンタさんから、人形・折り紙のこま・クッキー、それに絵本のプレゼントがありました。手作りのお菓子をいただきながらの楽しいひと時でした。

親子60名ほどの参加がありサロン会場は入りきらないほどでした。準備をしてくださった、ボランティアの方々そして南老人福祉センターの皆さん、全員の熱い心のプレゼントでした。

さあ、みんなへプレゼント

サンタさんはどこに住んでるの？

サロンは2月6日（水）、20日（水）10:00～11:30
3月5日（水）、19日（水）10:00～11:30あります

囲もう。子そだテーブル。開催される!!

青少年育成委員　石黒 裕子

昨年11月５日（月）常盤中学校視聴覚室において、常盤中学校あいネットワーク推進委員会と青少年育成委員会の共催事業として、あいネットワークの教育フォーラム「囲もう。子そだテーブル。」が行われました。

常盤中学校３年の木村貫太郎さん、岩淵真歩さんの友だち・家族・この地域に暮らしての思いの発表があり、高橋稀一氏からは、地域での子どもたちの成長の見守りなどのお話がありました。　その後テーブルごとに評議委員、生徒さん、先生方、PTAの方、育成委員が懇談をし、和やかな雰囲気のなか、あらためて地域の温かさ感じる会となりました。ご協力ありがとうございました。

おいしかった！楽しかった！ おもちつき大会

昨年12月９日(日)常盤児童会館でおもちつき大会が行われました。

留学生の若者や、「グループホームときわの森」のお年寄りの方々もこられて、つきたてのおもちを味わっていただいたり、若いご夫婦も小さなお子さんを連れて何度もおかわりをしていました。

青少年育成委員　横山　雪枝

「森の仲間のさわやかクラブ」の開催(2)

芸術の森地区社会福祉協議会　高齢者支援部

高齢者支援部長　清水　勲

19年度の当事業も、11月25日(日)に第６回目を開催し、年内の開催は終了致しました。これまでの参加者は103名で、予定より少な目に推移しております。

開催に当って、該当ブロックの町内会の関係者の皆様には、参加者の募集、参加者のお世話等に、大変なご苦労を頂きまして、ご協力に対しお礼を申しあげます。

本年度の開催は、冬期間は、寒さや積雪等に配慮して休止することとし、平成20年３月に残りの２ブロックの開催を計画しています。

３月の開催は、次のように計画していますので、開催時期が近付きましたら、町内会を通じて、参加募集のご案内をさせて頂きますので、多数の参加をお願いします。

①Ａブロック：平成20年３月９日
（地縁団体見晴・石山東・地縁団体石山八区町内会）
②Ｂブロック：平成20年３月23日
（常盤団地・アートパークタウン・常盤台町内会）

「和幸園」の介護予防教室は、スライド等を使用した分かりやすいお話と簡単な用具を使った手・指・足・顔等を動かし、参加者が一緒に行い、自宅でもテレビを見ながら出来る楽しい運動となっております。

また、「芸能ボランティア団体」による演芸も、できるだけ参加者も参加できる内容のものを工夫して頂いて、大変楽しいものになっております。

朝市では、地元で生産された野菜等の格安の品物をまえに、生産者とのやり取りでコミュニケーションを深める楽しい一時を過ごせます。

お昼のお弁当は、保養センター駒岡の特製お弁当で、大変美味しいとの評価を得ております。

皆さまのご参加をお願いいたします。

第36回 南区少年少女親善スポーツ大会

青少年育成委員　佐々木 智明

昨年11月11日(日)南区体育館で、全19チーム、中・高学年に分かれ、トーナメント戦でドッジボール大会が行われました。芸術の森地区から石山東小学校、常盤小学校より各２チーム、全４チームが参加。

昨年にも増す熱戦で、「ときわＹＥＳ－Ａ」チームが優勝、他のチームも大健闘。全員けがもなく終えました。選手の努力と、家族・学校・地域、皆様の協力のおかげです。ありがとうございました。

フッズで 恒例「初心者スキー教室」開催

青少年育成委員　横山 圭子

今年は会場を例年の真駒内スキー場から藤野のフッズに代えて１月19日開催しました。

小学生29人が専用のバスでゲレンデに到着。丁寧な初心者指導のおかげで自信を深めたみんなはリフトでスロープを登り滑走に挑戦。昼食にカレーライスも用意され、楽しい一日でした。

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は編集スタッフを改編（６名に減員）しましたが、スタッフ全員はもとより会員皆様方のご協力により定期号第７･８･９号を発刊することができました。

本年もより充実した内容を心懸けたいと思いますので、倍旧のご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

編集委員長　堀川　昭八
副編集委員長　三上　良子
情報部長　古内　一枝
情報部長　石黒　裕子
会計部長　佐藤　宗昭
監査　馬場　宏